

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ヤマザキ動物専門学校
設置者名	学校法人ヤマザキ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
動物管理専門課程	愛玩動物看護学科	夜・通信	1290 時間	80×3=時間 240 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄あり。 https://senmon.yamazaki.ac.jp/guidance/infodisc/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ヤマザキ動物専門学校
設置者名	学校法人ヤマザキ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。<https://yamazaki.ac.jp/business/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	財団法人理事長	2022.4.1～ 2025.3.31	常務理事 (総務担当)
非常勤	医師	2022.4.1～ 2025.3.31	法人経営・運営に係 るチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ヤマザキ動物専門学校
設置者名	学校法人ヤマザキ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>【作成について】 各授業科目については教務委員会等の学内会議により、授業科目の設定・講義内容について検討した後、各授業担当教員へ授業計画作成依頼を行っている。様式についても、授業科目名、担当教員名、到達目標、講義概要、授業計画(各回の授業プラン)、履修上の注意、成績評価、教科書、事前・事後学修の内容、参考書を必須項目とした統一様式を使用し作成要領に従って作成している。</p> <p>【時期について】 翌年度の授業計画は12月～1月に担当教員が作成し、3月にシラバスとして製本、4月全生徒へ配布。ホームページ上でも公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://senmon.yamazaki.ac.jp/guidance/infodisc/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>各科目の授業計画(シラバス)内の評価方法欄にて、筆記試験、レポート等評価方法について細かく提示している。提示した方法により科目担当教員が中心となり適正な評価を実施している。</p> <p>(参考) (成績評価) 100点～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 D</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPAを導入し、S(100～90点)、A(89～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)にて評価し、成績を通知する。各科目の成績評価を既定の数値に置き換えて1科目あたりの平均成績を算出する。各成績はS(4点)、A(3点)、B(2点)、C(1点)に換算する。</p> <p>各学科の成績評価方法、ならびにGPA制度については、履修ガイドにてオリエンテーション等で通知している。</p> <p>これらの成績評価は独自奨学金や学業優秀者の表彰候補者の選出等に活用している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://senmon.yamazaki.ac.jp/guidance/infodisc/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>当校の卒業は所定の修業年限を通じ、所定の時間数を修了し、出席日数と学修成績等の総合判定に基づいて決定することを定めている。また当校ではディプロマポリシー(卒業認定および専門士授与に関する方針)を策定し、HPに公表している。</p> <p>卒業に関する詳細については、ディプロマポリシーをはじめ、履修ガイドやインフォメーション&ガイド等に記載している。</p> <p>ヤマザキ動物専門学校ディプロマポリシー</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本校の建学の精神及び教育理念を理解し、人と動物の架け橋となる愛玩動物看護師としての使命感を有する。 2. 動物看護学の基礎的・応用的知識と技術を身につけている。 3. 人と動物の共生社会において必要なコミュニケーション能力を身につけている。 4. 動物愛護・福祉に基づいた動物の適正飼養の普及および公衆衛生に貢献する能力を身につけている。 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://senmon.yamazaki.ac.jp/guidance/about/policy/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ヤマザキ動物専門学校
設置者名	学校法人ヤマザキ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月に最新情報をHP公開している。 https://yamazaki.ac.jp/business/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		動物管理専門課程	愛玩動物看護学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,700 単位時間/単位	1620 単位時間/単位	単位時間/単位	1080 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320人		337人	0人	14人	56人	70人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 随時担任教員による面談や相談を行い、必要な場合は学年主任、保護者等とも面談を実施している。進路指導においては就職支援課職員ならびにキャリアマネジメント科目担当の教職員も加わり支援を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 令和5年度に初めて卒業生が出る学科のため、該当者なし			
（就職指導内容） キャリアマネジメントの授業内において、自分史の作成、働くことの意味を考え、自分の強みや他者から見た自分の把握、自己分析等を行う。最終的には未来ノートを作成し、これからの就職活動～10年先の未来まで、中長期での人生設計を考える内容の指導を行う。就職セミナーでは現場で働く卒業生を招き、実際の仕事の様子や先輩の経験談を聞くことで具体的な就職活動をイメージさせる。また、就職支援課に専任の職員が在籍しており、個人面談、履歴書指導、自己分析、模擬面接等の指導を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 愛玩動物看護師、アニマル・ヘルス・テクニシャン、ドッグ・グルーミング・スペシャリスト、キャット・グルーミング・スペシャリスト、コンパニオン・ドッグ・トレーナー等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
224人	25人	11.2%
（中途退学の主な理由） 学力不振、学生生活不適応・修学意欲低下、就職、転学、心神衰弱・疾患、経済的困難、結婚		
（中退防止・中退者支援のための取組） 出席率低下の学生の早期発見に努め、学年主任やクラスアドバイザー（担任）、アシスタントアドバイザー（副担任）と学生、保護者の面談を行い、指導を行っている。また、学生の不安を軽減させるために、クラスアドバイザーやアシスタントアドバイザーとの面談も定期的に行っている。状況に応じてスクールカウンセラーの紹介を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
愛玩動物 看護学科	200,000 円	850,000 円	280,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校 HP 公開している。 https://senmon.yamazaki.ac.jp/guidance/infodisc/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本校は、その教育の一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、本校の教育活動その他の学校運営の状況について、自ら点検及び評価の結果を踏まえた本校の関係者による評価を行い、その結果を教育活動等に活用することを目的に、学校の専門分野における業界関係者、卒業生、保護者、学校運営に関する専門家等で構成する学校関係者評価委員会で本校の教育活動及び学校運営の状況に係る自己評価結果の評価を行うことを基本方針とする。委員会で審議した事項に関しては、その結果または経過を校長に報告するものとする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
動物病院 動物看護師	2023. 4. 1～2024. 3. 31	企業等委員
動物病院 動物看護師	2023. 4. 1～2024. 3. 31	卒業生
後援会 役員	2023. 4. 1～2024. 3. 31	保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校 HP 公開している。 https://senmon.yamazaki.ac.jp/guidance/infodisc/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://senmon.yamazaki.ac.jp/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H113311300381
学校名	ヤマザキ動物専門学校
設置者名	学校法人ヤマザキ学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		26人	22人	26人
内 訳	第Ⅰ区分	16人	14人	
	第Ⅱ区分	- 人	- 人	
	第Ⅲ区分	- 人	- 人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				26人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	- 人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	- 人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	- 人		
「警告」の区分に連続して該当	- 人		
計	- 人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	- 人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	- 人
3月以上の停学	0人
年間計	- 人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	-人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計			
(備考) 「修得単位数6割以下」および「出席率8割以下」の対象学生は「GPAが下位4分の1」の者に含まれる			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。